

P&Aいしかり 活動広報 第29号

2023年 9月 8日

どんな障がいがあっても、安心して地域で暮らしていけるようにしたい！
障がいのある人への良き理解者を増やし、広げたい！

P&Aいしかり事務局 <http://p-a-ishikari.jimdo.com/>
石狩市障がい者支援センター(石狩市樽川519-2)
TEL 0133-73-8868 FAX 0133-73-8869
発行責任者 佐々木公子



安永健太さん死亡事件を共に考える集いを 開催！！

8月26日10時00分より花川北コミュニティセンターで、「安永健太さん死亡事件を共に考える集い」が25名の参加で開催されました。開催にあたっては石狩市に共催をお願いし、後援として石狩市教育委員会、石狩市社会福祉協議会、石狩市地域自立支援協議会のご協力のもと開催することができました。

集いでは最初にドキュメンタリー映画「いつもの帰り道で～安永健太さんの死がといかけるもの～」が上映されました。映画を通してあらためて健太さんのような事件は、どこにでも起こりうる問題ではないかと思いました。お父様の素朴な語り口が、逆に哀しみの深さを感じました。

続いてオンラインで大阪から健太さんの会事務局長の辻川圭乃（つじかわ たまの）弁護士から講演がありました。「安永健太さんが残したものを風化させないために」ということで、はじめに、健太さん事件について、「2007年9月25日佐賀市内で、作業所帰りの自転車に乗っていた知的障がいのある25歳の青年である健太さんが佐賀県警の警察官から不審者と誤信されて後ろ両手錠を掛けられて多数の警官に抑え込まれて、即日心臓死させられた事件です。」との説明に始まり、事件や裁判の経緯を詳しく話されました。また、健太さん事件を通して、現行の「警察官職務執行法（警察官の活動内容について定める法律）」の問題が話され、国連は2022年9月「精神錯乱」等の侮蔑的な用語及び差別的な法規制を廃止することを日本に対して勧告しており、この言葉は警職法にしか使われていないこと。そして、改正案の提言内容など詳しく説明されました。

また、事件が起きる6年前には2001年には警察プロジェクトが始まり、ハンドブック「知的障がいのある人を理解するために」（全日本育成会発行）が全国の警察に配られ、その後、2004年には警察庁作成の「障がいを持つ方への接遇要領」も全国の警察本部・警察庁に配布されていたが、生かされることなく健太さん事件が起き、なお現在でも繰り返され続ける悲劇が起きていることも話されました。

参加された皆さんからは多くの感想シートをいただき、その一部を次ページに掲載させていただきました。ありがとうございました。

YouTubeで日本語字幕版・手話+日本語字幕版・音声ガイド版の3バージョンの動画が配信されています。また、安永健太さん死亡事件に関する情報として、安永健太さん死亡事件に関するYouTubeの主な一覧

- ・【安永健太さん死亡事件】障害者権利条約 日本審査総括所見 ...
- ・安永健太さんのお父様のお話
- ・国連障害者権利委員会総括所見を受けての記者会見 20221018
- ・「健太さんはなぜ死んだか」出版記念シンポジウム20170710
- ・ABEMA NEWS 2023年6月20日放送「捜査や裁判で自分を守れない“供述弱者”とは」
これらはP&Aいしかりのホームページに掲載 <https://p-a-ishikari.jimdofree.com/>
「P&Aいしかり」で検索するとすぐ見つかります。そこに各情報のリンクをはっておりますのでご覧下さい。



参加者の皆様からの感想の一部紹介

対応した警察官の方が誰一人として健太さんの障がい特性に気づいて下さらなかったことが悔しくてたまりません。

警職法の見直しはもとより、一人でも多くの方に障がいのことを知っていただくことが大切だ思いました。亡くなる前、複数の警察官に取り押さえられた健太さんはどんなに怖い思いをされたのでしょうか。我が息子の姿を重ね合わせるといたたまれない、悔しくてやりきれない気持ちになります。

警察官には知的障がい者に対する注意義務があることを改めて認識していただき、地域には様々な人がいることを知ってほしいと思いました。P&Aいしかりの活動意義を改めて感じることができました。ありがとうございました

とてもつらい悲しい事件だったと思います。もっと周りの方々の障がいを持って身近な地域で生活をしていることへの理解と関心を持って頂けたら命を落とす事は無かったと思います。

障がい者への特性を分かっていただけの努力が必要ではないかと感じた研修会でした

本当に痛ましい事件で、言いようのない悔しさと憤りを感じます。お身内の皆さんの無念を考えると深い悲しみにおそわれます。

私も同じ立場の親として何とか多くの方々に、この現実を知っていただき、共に歩んでいただくことが希望です。

それにつけても生まれ育った地域で、生きづらい方々のために、P&Aいしかりの役割はほんとに大切なことであると感じています。

どうぞ多くの方が共感して、大きな力となりますことを心からお祈りしています。

障がいの子を持たないとわからない、理解することが難しいということはわかるのですが、市民と密にかかわる職に就くものは特に理解が必要なのではないかと思いました。

辻川先生ありがとうございました。



「健太さんはなぜ死んだか」
警官たちの「正義」と障害者の命

齋藤貴男 著

個人で考えればわかる正しさが、組織になると正しさが捻じ曲げられてしまうという社会の理不尽さが表れた事件かなと感じました。

裁判を終えて「自分が加害者に扱われたと感じた」というお父様の悔しさは計り知れないものがあったと思いますが、それでも「最後に頼らなければならないのは警察です」と仰ったお父様の心の強さに感服しました。

障がい者の自立といっても、社会が全員理解してくれているわけではないので、サポーターもしくは保護者と一緒の外出しか考えられないし、子供を守ることができないのが現実問題です。

誰もが安心して暮らせる社会をつくるには、当事者の親の働きかけが重要だと思いました。

2007～8年前、以前勤めていた養護学校に警察から知的障がい者理解に係る講演依頼がありました。この件が発端だったと一致したところでした。

警察だけでなく通常学校の障がい者理解のレベルは低く、管理職の発信で作業所通いの知的障がい者を「不審者注意」と保護者向け資料が配布されたという情報が寄せられており、課題が山積みであることを改めて感じました。本日はありがとうございました。

研修の機会をいただきありがとうございました。福祉以外の立場の方、市民の方にも障がいの理解についての周知を定期的に継続的に地道に行っていく必要を感じました。

本日はありがとうございました。
大変参考になりました。
今後も頑張ってください。



石狩市民生委員児童委員連絡協議会障がい福祉部会の皆様との懇談が開催！！

昨年7月6日の懇談に続いて、本年7月12日（水）13時00分より花川南コミュニティセンターで、民生委員・児童委員連絡協議会障がい福祉部会の皆さんとP&Aいしかり世話人との懇談が行われました。

今年度より民生委員の部会の皆さんは、新しくメンバーとなった方も多く、民生委員の安保さんを通して、熊谷部長からあらためてP&Aいしかりとの懇談をとのご依頼をいただきました。

懇談会では熊谷部長の挨拶に始まり、冒頭、世話人の自己紹介の後、P&Aいしかりの紹介パンフを通して、P&Aいしかりの活動紹介と「障がいのある子を育ててきた私たちからのメッセージ」の冊子お配りして、障がいのある子を育ててきた親として、これまで地域の中での様々な関りを通して、地域の皆さんに伝えたいことなど親の想いをお話しさせていただきました。

その後、部会委員の皆さんからの自己紹介があり、その中で街で障がいがある方を見かけた時にいろいろと迷いながらも対応されたお話や、困った時に連絡するところを把握して、地域活動に生かしていこうとお話もされていました。障がいを持つ方にどう声掛けや関わったら良いか。また、ご自身のご家族でのことなど、いろいろ懇談することができました。また、委員の渡邊さんから「身近にある福祉、障がいに関する様々なマーク」（内閣府の資料）が紹介されました。（わかりやすいパンフ情報なので、この広報でも紹介します）

民生委員の部会の皆さんとの懇談を通して、お互いに身近な地域で暮らされている様々な障がい持たれている方の「生きづらさ」やそれぞれの障がいや個性を知り、そして「困り感」を共に理解し、少しでもサポートできるように、これからは様々な機会に共に取り組みを進めていければと思いました。

民生委員・児童委員の皆さんの役割が、「自らも地域住民の一員として、それぞれが担当する区域において、住民の生活上のさまざまな相談に応じ、行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」としての役割を果たすとともに、高齢者や障がい者世帯の見守りや安否確認などにも重要な役割を果たしています。」との説明が、全国民生委員・児童委員連合会のホームページで紹介されています。

- ・安全で安心な地域のための「見守り役」
- ・困りごとや生活上のさまざまな「相談役」
- ・行政をはじめ適切な支援やサービスへの「つなぎ役」

こうした身近な地域で活動されている民生委員・児童委員の皆さんとさらに連携して、「障がいがあっても街の中で普通の暮らし」ができる地域づくりを目指していきます。

この度は民生委員・児童委員連絡協議会障がい福祉部会の皆さんとの懇談をさせていただき本当にありがとうございました。

P&Aいしかり 世話人一同

ヘルプマーク
外見からは分からない人も多く、配慮を仰ぐ必要がなければなりません。

耳マーク
聞こえが不自由なことも同時に聞こえがよい人もいます。

オストメイトマーク
「オストメイト」とは、人工肛門や人工尿嚢を装着した人のことを指し、尿や便の漏れや臭いなどの問題が起きることもあります。

いまじゅだマーク
身体障害者補助手帳は、目の見えない方や歩行が困難な方、知的障害のある方、発達障害のある方、外見からは分からない身体障害者です。

身体障がい者標識
目や耳の不自由さや、歩行の困難さ、知的障害や発達障害など、外見からは分からない身体障害者です。

視覚障害者標識
目が見えない程度や、視覚障害の程度によって、運転免許の取得や車の運転が難しい方もいます。

マークの意味を知って、思いやりのある行動につなげよう！
障害・病気など、2、3人が遠くに行ったら、進んで声かけして、困っていることを聞いてサポートしましょう！

監修協力 新井久美子（救急科専門医）、矢澤まり（外科専門医）
情報元 内閣府 <https://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/r03hakusho/zenbun/pdf/ref4.pdf>

知っていますか？
身近にある福祉、障害に関する様々なマーク

街で見かける障害者に関するマークには、色々な種類があるのをご存知ですか？
援助が必要な方々が周囲の方に配慮を必要としていることを知らせることで、援助を得やすくなるように作られているものです。

Smart119 CEO
千葉大学 救急集中治療医学教授 中田孝明先生



誰もが暮らしやすい社会へ

～発達障がいについて考えてみよう～

北海道社会福祉
フォーラム
2023

令和5年

とき **10月14日** 土

開場 **12:30** 開演 **13:00～16:50**

ところ **ウイステリアホール**

札幌市中央区南1条西14丁目ウイステリア南1条ビル地下
※地下鉄東西線「西18丁目」駅5番出口より徒歩5分
札幌市電「西15丁目」停より徒歩1分



座長兼 パネルディスカッション
コーディネーター

中村 秀一 氏

一般社団法人医療介護福祉政策研究フォーラム理事長
国際医療福祉大学大学院 教授



● **参加無料**

事前のお申込みが必要

会場及びオンラインで開催します

(会場 100名、オンライン 300名)

☆「会場」ご来場の方にはプレゼントがあります!

※必要により手話通訳をご用意します

第一部 基調講演

13:15～14:30

基調講演 I (45分) 「発達障害のある子どもたちの可能性・社会の課題～多様性の時代に向けて～」

発達障害の子どもが増えていると言われてるのはなぜか、社会の側にある問題を通して考えます。発達特性のある子どもたちの魅力と可能性について共有したいと思います。

講師 野澤 和弘 氏

一般社団法人スローコミュニケーション代表/
植草学園大学副学長 (教授)



基調講演 II (30分) 「発達障害の子どもたちと共に～幼児期から成人期までのサポートを通して～」

むぎのこでは、発達障害のある子どもを幼児期から、大人になるまでサポートしてきました。彼らは、誰もが安心できる新しい時代の実を結ばせてくれる存在である事を感じています。

講師 北川 聡子 氏

社会福祉法人妻の子会理事長・総合施設長/
公益財団法人日本知的障害者福祉協会副会長、
児童発達支援部会長



第二部 パネルディスカッション

14:45～16:45

- 各パネリストから担当分野の概況等発言 (パネリスト発言各 10分程度)
- 全体討論
- 総括

パネリスト

津曲 共和 氏

(現)国土交通省 安心居住推進課長
(前)厚生労働省 障害福祉課長



パネリスト

山瀬 正己 氏

北海道自閉症協会 監査



パネリスト

菊地 寛大 氏

社会福祉法人妻の子会



パネリスト

加藤 潔 氏

社会福祉法人はるにれの里
自閉症者地域生活支援センター
なないろ 所長



アドバイザー 野澤 和弘 氏

アドバイザー 北川 聡子 氏

・主催 / 北海道社会福祉フォーラム 2023 実行委員会 (社会福祉法人ノアド福祉会・社会福祉法人はるにれの里・社会福祉法人浦河べてるの家・社会福祉法人妻の子会)
・共催 / 株式会社メディカルシステムネットワーク
・後援 / 北海道厚生局、北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道市長会、北海道町村会、北海道社会福祉協議会、北海道民生委員児童委員連盟、札幌市社会福祉協議会、札幌市民生委員児童委員協議会、北海道新聞社、藤女子大学 QOL 研究所